



園だより9月号



令和8年9月1日
社会福祉法人 愛光会
ハローこども園
浜松市中央区下江町522
電話(053)425-5586

9月の予定

1	火	総合防災訓練	
2	水	親子ひろば	
3	木	音楽教室	
4	金	シニアクラブ交流会	
5	土	職員会議（前期のまとめ） 園内研修	
6	日		
7	月	身体測定（めだか・うさぎ組）	
8	火	英語であそぼう（つき組）	
9	水	親子ひろば	
10	木	身体測定（ひよこ・ほし組）	
11	金	避難訓練	
12	土		
13	日		
14	月	体操教室	
15	火	英語であそぼう（つき組）	
16	水	親子ひろば 身体測定（りす・つき組）	
17	木	音楽教室 園長会	
18	金	お作法教室（つき組）	
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木	希望保育 園外保育の日（お弁当）	
25	金	希望保育（給食数把握のため）	
26	土		
27	日		
28	月	体操教室 保育料口座引き落とし日	
29	火	以上児誕生会	
30	水		

厳しい暑さが続いた夏も終わりに近づき、トンボやスズムシの鳴き声が聞こえる時期になってきました。

8月の子供達は、プールに水遊び、お祭りごっこや感触遊び、夏野菜収穫後のクッキングなど、夏ならではの遊びをたくさん経験しました。

プール



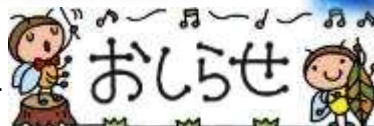
お祭りごっこ



水遊び



ポップコーン作り



◎非常時の園児引き取り、（お迎え）に関して

8月初旬に、総合防災訓練（引き取り訓練）の手紙を配布しています。災害後、実際に誰がお迎えに来られるかなど、ご家庭内でも確認をしておいてください。当日は、緊急引き渡しカードを必ず持参して、訓練に参加するようにしてください。

◎コットについて

11月からりす組及びうさぎ組の午睡は、布団に代わってコットを使います。詳しいことは、各クラスのメールでお知らせしますので、ご承知おきください。

◎保育参加及び給食試食会について

4月の手紙でもお知らせ致しましたが、運動会1ヵ月前（9月24日～10月16日まで）は保育参加及び給食試食は実施しません。

◎保育施設 現況確認届出書

8月中旬に配布した「現況確認届出書」は園に提出をお願いします。締め切りは9月11日です。（幼稚園機能のご家庭は、該当しません。）



ハローこども園の学び

～食と環境～

ハローこども園の園庭は、固定遊具が少なく、走る、集まる、自然に触れる、ごっこ遊びを広げるなど、自由に使える空間を重視し、子供が自分で遊びをつくる力を育てることを大切にしています。

何もない空間では子供が自分で遊びを考えやすく、体を動かすことだけでなく、興味や関心に応じてさまざまな遊びを展開することができます。

広い空間では、鬼ごっこ、ボール遊び、縄跳び等の運動遊びをする子供もいれば、土、草木、土山、水、虫に触れるなど自然体験を楽しむ子供もいます。友達と関わる運動遊びでは、自分たちで様々なルールを作り出します。また、園庭の周りや片隅に畑や田んぼ、草むらがあるだけで、チョウやバッタがやってきます。季節の移り変わりや命の多様性に触れて心が動かされる体験が、子供たちの知的な興味関心や探究心を豊かにします。

今月は、園庭で遊ぶ子供たちが、園庭にあるちょっとしたもので、遊びを作り出し、遊びに入り込んで楽しむ様子を紹介します。

宮野恵理子

朝顔で色水づくり

園には、毎年年長さんがひとり一鉢育てている朝顔とみんなで育てている朝顔があり、色水遊びを楽しんでいます。



赤とピンクでこんなに色になった。

赤と紫と青でこんなにきれい。

アリ

園庭のはじっこで、アリを発見！みんなでたくさん捕まえて数を数えています。たくさん捕まえると、誇らしげにバケツに入れ、アリがお腹を空かせてはいけないと、葉っぱも入れています。

見て、ありんこ、たくさん捕まえた。

百匹よりたくさんいるね。



砂山を作って、ぴかぴかにするというのですが、どうなるのかな。



ぴかぴかに光る山だよ。

畑で

オクラ！

ピーマン！

みんなで協力して根っこから抜いたよ！



ネコジャラシ

園の草むらで、猫じゃらしを発見！お父さんから教わった技を、S君は友達に教えてくれました。

くすぐったい！



ぼく、もっとおもしろいことできるよ。



すごい！ぼくもやりたい。

ほら、見て見て、動くよ。



ヒマワリ



ハローこども園の学び

～食と環境～

料理には、食材や料理を見る（視覚）、包丁で野菜を切ったり、煮たり焼いたりする調理音を聞く（聴覚）、調理中のおいしそうなおいをかぐ（嗅覚）、さまざまな食材に触る（触覚）、できあがった料理を食べる（味覚）など、五感が刺激される場面がたくさんあります。料理に関わるだけで五感すべてが鍛えられるので、子どもの感覚を豊かに育てることができます。また、材料の分量や手順を考えたり、焼いたり煮たりした際の化学的なことに興味を持つ等、子供の好奇心や探求心を育てる事にもつながります。

さらに、家庭においては、買い物や料理を手伝うことで、コミュニケーションが活発になり、子供の自己肯定感も高まります。

今月も、園で取れた野菜の調理の様子を紹介します。

宮野恵理子

うさぎ組さんの10分クッキング

ピーマンとナスとちくわの甘辛炒め

子供たちは、毎年自分たちで収穫した取れたての夏野菜を調理して味わっています。うさぎ組の子供たちは、担任の保育教諭が調理する過程を見ながら、野菜を切る音、料理する匂いなどを楽しみ、わくわくしながら、料理の出来上がりを待ち、友達と一緒に味わいました。

五感を働かせて

見る

ナスを切るよ。何色かな？

白

黄色

黄緑

黄緑と白



どんな形？

大きな丸

小さな丸

数や大小の認識

子供たちと一緒に野菜の数を数え、ピーマン5個、ナス1個それにちくわを5本使って調理しました。5本のちくわを切ったら42個に増えてびっくり！10より大きい数だけど、頑張って数えました。

大きいのと小さいのと、いろいろ切るね。

ピーマン嫌い。小さいのがいい。

ピーマン好き。大きいのにして！



匂い

どんな匂い？

黒い穴、何かな？

虫がいるのかな？

切って調べてみよう。

アリがいた。

何がいた？

虫は取る。

きれいに洗うね。

音 匂い

ジュージュー

お醤油入れるね

匂い変わった！

いい匂い

長い針が8のところまで、混ぜるね

担任は、調理をするだけでなく、子供たちにいろいろな問いかけをしていきます。担任との会話を通して、子供たちは、自分が五感で感じたことを言葉にしていきます。また、調理の過程で数量感覚を養い、化学的な現れにも目を向けさせています。さらに「火は熱いよね。」など家庭での調理を思い浮かべせ、家族が大変な思いをしてわが子のために料理を作ってくれている感謝の気持ちも引き出していました。

出来上がった料理を食べた子供たちは、ピーマンやナスが嫌いな子供も「甘い。」「シャリシャリしておいしい。」「ちくわと一緒にだと食べれる。」など、自分たちが収穫した野菜のおいしさを味わい、喜んでいました。

ハローこども園の学び

～食と環境～

6月になると、梅や琵琶などの木の実や夏野菜などが実り、子供たちの五感やお腹を満たしてくれます。

毎年園外南の畑の梅の木の実を収穫し、梅干しや梅ジュース、梅ジャムなどを作って、楽しんでいます。夏野菜は取れたての物を焼いたりゆでたりして、その物の味を味わうこともあれば、カレーなどクッキングをしてカレーパーティーをすることもあります。

今月は、子供たちのおいしい体験を紹介します。

つき組さん

梅のコンポート

今年は、いつもより早い時期に梅の実が実り、たくさんの梅を収穫することができました。

梅は大変よく熟していて、大きな実が地面にたくさん落ちていました。つき組の子供たちは、たくさん実を拾って園に持ち帰り、よく洗ってへそを取り、よく煮て梅コンポートを作って味わいました。

以下は活動のねらいです。

- 梅という食材や梅からできるものを知り興味や関心を持って、梅の収穫体験を楽しむことができる。
- 梅の香りや感触を楽しみながら、収穫した梅を洗ったり、へそを取ったりしてコンポート作りを楽しむことができる。
- 出来上がった梅コンポートを味わい、収穫の喜びや感謝を実感することができる。

こんなに大きいのが取れたよ。



地面にも、こんなにきれいなものが落ちていたよ。



グツグツ
いってる
ねえ！

梅のにおい。
いいにおい！



ほし組さん

あまーい！

かんぱーい！

りす組さん

梅ゼリー

おかわり！



先生が梅ジュースを作ってくれたよ。

すっぱい！



あまーい！



ピーマン・おくら

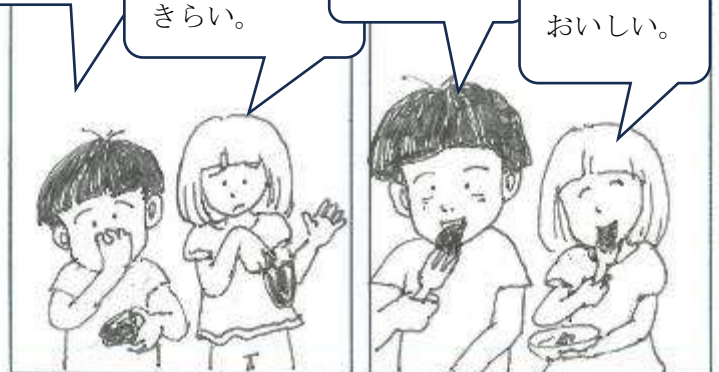


ピーマン嫌い。
臭いもん。

私も苦いから
きらい。

臭くない！

おいしい。



ピーマンとオクラを収穫し、ピーマンは焼いて、オクラはゆでて、頂きました。ピーマンなどの野菜は、嫌いな子も少なくありませんが、自分たちで育てた新鮮な野菜は、みんなおいしく感じるようです。

ハローこども園の学び

～食と環境～

ハローこども園の周辺や園庭では、様々な生き物の命が育まれています。ことに、子供たちは、テントウムシやアゲハチョウ、ダンゴムシなど卵から成虫に、あるいはメジロやシジュウカラ、スズメなど卵から成鳥になる生き物を、日常的によく見えています。

そして、ほとんどの生きものにとって、子を産み、育てることは生命サイクルの中心です。子に食べ物を与え、守り、いろいろな形で生きる術を伝えます。

5月の初旬、南園庭で、そんな野鳥の親子に出会いました。

へびから子を守る

一昨年度のつき組が作った巣箱で、今年もシジュウカラの雛がすくすくと育っていました。子供たちは、雛に餌を運ぶシジュウカラの姿を、よく見かけていました。ところが、その巣箱の中にへびが侵入したのです。

あ！あそこにも。ここにも。
雛がいました！いました。

つき組さんにて・・・

シジュウカラが卵を産みました。



かわいい。

よかった。

生きてたんだね。

どうやって、逃げたのかな。

お父さんとお母さんが、連れてったんじゃないの。

お父さんとお母さんが、運んだんだよ。

お父さんとお母さんは、毎日、何度も何度も、餌をあげます。

お父さんとお母さんが、先にへびを見つけて、知らせたんじゃないの？

5月のある日、へびが巣箱に入り込みました。びっくりして、へびをほうきで追い払いましたが、...

すごい！その通り！シジュウカラのお父さんとお母さんは、いつも敵が来ないか見張っていて、シジュウカラの言葉でジャージャー（へびが来た！）って知らせるそうです。

巣箱に雛はいませんでした。

ええええ！

かわいそう。

わたしも、おばあちゃんの家で、地震があったとき、ママが守ってくれた。

家のパパもママも守ってくれるよ。

パパは危ないところは、だっこしてくれるよ。

たべられちゃったの？

逃げたんじゃない？

シジュウカラは、巣やヒナが危険にさらされたとき、親のシジュウカラが擬傷行動と呼ばれる「わざと弱っているように見せる動き」をして、捕食者の注意を自分に引きつけて子供を守ることもあるそうです。今回、子供たちは、シジュウカラを通して親の愛を学ぶ機会となりました。

ハローこども園の学び

～食と環境～

近年、子どもが育つ環境が変化しており、子どもの生活空間の中に自然や公園などの遊び場が少なくなり、また、あっても、子供が遊んでいることは少なくなる一方で、テレビゲームやインターネット等の室内の遊びが増えるなど、偏った体験を余儀なくされています。

また、環境と同時に子どもの食をめぐる、発育・発達の重要な時期にありながら、栄養素摂取の偏り、朝食の欠食や十分な時間をとれない等の原因から様々な健康への影響が懸念されています。

そこで、今年度は「食と環境」に視点を当てて、園での活動を紹介していきます。

まず、環境においては、現在職員実践研修において「命の営みを感じられる環境づくりをめざして」をテーマに研修を行っています。植物や生き物などの自然体験を通して植物が匂いを放ち昆虫や野鳥などの生き物と呼び寄せる環境の中で五感を働かせて、興味関心や好奇心が育ってほしいと願っています。

食育では「保育所における食育に関する指針」における幼児期の以下の目標に従って、園内でも食育活動を行っています。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) お腹がすくリズムのもてる子ども | (4) 食事づくり、準備にかかわる子ども |
| (2) 食べたいもの、好きなものが増える子ども | (5) 食べものを話題にする子ども |
| (3) 一緒に食べたい人がいる子ども | |

また、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における教育及び保育内容の「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域において、いずれの領域にも、食に関する内容は含まれています。保護者の方とも思いを共有し共に考えていきたいと思ひます。

宮野恵理子

環境学習「はるをさがそう」

環境学習では、寺田隊長を招いて、ほし組さんが春を探す活動を行いました。子供たちは、寺田隊長の話を真剣に聞き、ルールを守って春探しを楽しみました。

出会い



こんにちは。おじさんのことは、隊長とよんでね。森の友達イモリを連れて来たよ。イモリは体の中に毒を持っているけど、触っても大丈夫だよ。

イモリ

五感の話



口は何をしたらいいかな？

ハチに会ったらどうする？

逃げないと刺されちゃう。

意地悪しなければ大丈夫だよ

食べる。

おいしい。

熱い。

冷たい。

甘い。

注意すること



走って逃げるとハチも驚くから、静かに少しずつ離れてね。

春探し

春の花！

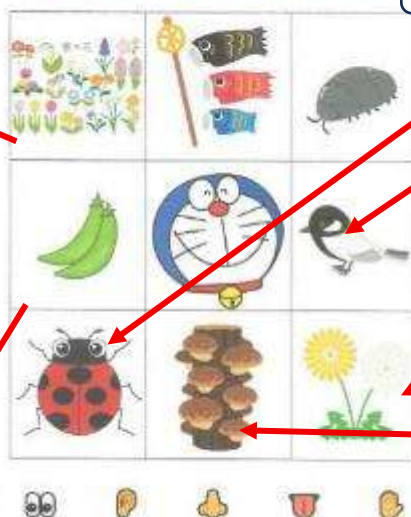


カラスノエンドウ



寺田隊長は、五感の説明をし、五感を働かせて春探しをするように子供たちに伝えました。

えんていピンゴ



テントウムシ



タンポポ



シイタケ



子供たちは、意欲的に春探しをしました。シイタケには、みんなすぐに走って行きました。「テントウムシはアブラムシを食べるから。」とカラスノエンドウがたくさん生えている場所に走りました。いつも園庭で遊びつくしている子供たちは、どこにどんな生き物がいるか、よく知っています。